

第 40 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 平成 30 年 8 月 23 日（木）午後 10：30～11：30
2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階
3. 委員の出席 委員総数 5 名 出席委員 2 名（予定 3 名）

出席委員の氏名 野村悠一郎、藤本薫、竹中孝雄

欠席委員の氏名 山崎匡紘、浅里志乃（当日欠席）

放送事業者側出席者氏名 泉清、大崎健志、生田奈穂

欠席者氏名 洞周作、角田圭三、濱田由希子

議題 1) 局側挨拶（現状報告）

2) 議題

番組聴取

8 月 7 日(火)22：00～8 月 8 日(水)22：00 に放送された特別番組「24

時間生ラジオ」を抜粋したの番組聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉：本日は台風接近の中お集まりいただきましてありがとうございます。
ます。

8月8日は放送開始日という事で、特別番組をさせていただきました。

7月に臨時株主総会を行いまして、会長と取締役合わせて3人になりました。今取り組んでいる事は、月一回の取締役会を開き経営の見直しなど行っています。その為にも、地盤が防災という事で自治体や国に信用してもらえる放送局になれるよう災害対策に力を入れています。田辺市の防災まちづくり課、西牟婁振興局と連携をとって災害時に対応できる体制づくりに取り組んでいます。8月31日には社内の防災訓練も行う予定です。

そして、9月1日は開局記念日という事で、9周年を迎えます。

2. 議題

～番組聴取～

泉：8月8日が放送開始日ということで、8月7日22時～8日22時まで24時間ぶっ通しで「24時間生ラジオ」を行いました。感想ご

意見をいただけますでしょうか。

野村：ヤーヤー祭りの会場でラジオ放送やってたのは気づかなかったですね。人が多くて盛り上がっていましたね。

泉：建物の中からやってたので、今回はあまり外に見えるところからできなかったですね。放送開始日のこの日は毎年みんなでわいわいしやすいので、パーソナリティさんも盛り上がってくれましたし深夜番組をしたいという人が結構いますのでこういう機会でもらいました。

藤本：いろんな場所に行っているいろんな人に聴いてもらうというのは良いことだと思います。特にお祭りは若い人たちが集まりますしね。

泉：スタジオだけでなくいろんな所に行ける、いろんなラジオの使い方があるというのを知ってもらう機会にもなりますね。

大崎：「24時間生ラジオ」はもちろんエンターテインメントとして楽しんでもらう部分もあるのですが、社長がおっしゃった通りラジオの使いかたとか存在感とか知っていただくための企画でもありました。あとは防災の面でも力を入れておりますので、深夜放送にどれくらい対応できるのかとか、いざ避難が必要となった時にスタジオではなく外からのレポートが増えたり他の場所からの放送も考えて

いかなければならないので、そういった経験値を会社で積むという意味でも良い経験になりました。

泉：実際ラジオを知ってもらって、市民や行政もラジオがインフラの一つとして定着して認められるようにさらに頑張っていきたいと思います。

藤本：防災に力を入れているという話がありましたが、災害が起こったときは危険性を感じるのだけれど、時間が過ぎれば忘れてしまうのでテレビではなかなかそういう話にはならないけど、ラジオだからこそ出来る事もあると思います。

あと、避難勧告や避難指示の意味合いを理解できてない人も多いと思うので、ラジオの中で避難情報の意味合いや違いを日頃から伝えていくのも大事じゃないでしょうか。

泉：ありがとうございました。

3.その他番組への質問・意見

藤本：音楽番組でテーマを決めて、例えば今週月曜日は昭和 60 年代の歌謡曲を特集して、その番組を事前に告知するというのはどうでしょうか。そうすると、それを楽しみに聴いてくれるリスナーさんが出てくるのではないかと思いました。

泉：ありがとうございます。準備すれば出来る事なので、すぐに取りかかれるかなと思います。前向きに検討したいと思います。

4.今後の放送に対する意見・要望

特になし

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月

日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし